

近畿地方小委員会の概要と意見

□開催日時

平成28年12月15日（木）19:00～20:00

□場所

近畿地方整備局 第1別館2階 大会議室

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
いづか あつし 飯塚 敦	神戸大学 自然科学系先端融合研究環 都市安全研究センター 教授	○
うの のぶひろ 宇野 伸宏	京都大学大学院工学研究科 教授	
うらお たか子 浦尾 たか子	京南倉庫株式会社 常務取締役	○
かわもと よしみ 川本 義海	福井大学大学院工学研究科 准教授	○
こばやし きよし 小林 潔司	京都大学経営管理大学院 教授・経営研究センター長	○
たまおか かおる 玉岡 かおる	作家 大阪芸術大学大学院 教授、兵庫県教育委員	
まきむら ひさこ 榎村 久子	京都女子大学宗教・文化研究所 客員教授	○
むねた よしふみ 宗田 好史	京都府立大学 副学長・和食文化研究センター長・生命環境学部 教授	
【委員長】 やました あつし 山下 淳	関西学院大学法学部 教授	○

（敬称略、五十音順）

□対象事業

- 一般国道1号 淀川左岸線延伸部

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道1号 淀川左岸線延伸部】

- 都市再生環状道路の欠損部分であり、関西だけでなく中部圏にも影響を与えている。早く効果を発現するためにも速やかな整備を進めるべき。
- ミッシングリンク解消で東大阪線の渋滞解消にも有効であり、特に観光では定時性の確保が重要。
- 一日も早く整備を望む。特に物流に関して、内陸部に大型物流施設が稼働・計画があるため、内陸部と臨港部のネットワークは大事。
- 災害におけるリダンダンシーの効果もあるので、効果に追加してほしい。都市問題の解決に環状道路は非常に効果がある。
- 都心部の交通の円滑化、物流の効果、観光・防災の効果、大規模修繕・更新時の阪神高速への代替ルートなど、ネットワークが整うことによって様々な課題解決が期待される。
- できるだけ早く工事に着工し、整備効果が発揮されるよう頑張っている。早期整備に期待している。

【その他全般】

- なし

□結論

一般国道1号 淀川左岸線延伸部の新規事業化については妥当である。